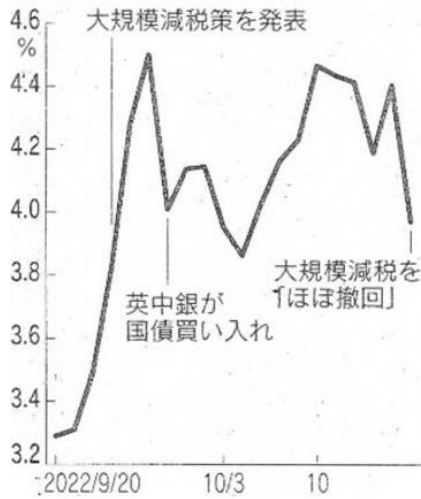


週間国際経済 2022 (33) No.326 10/18~10/23

- 10/18・英減税策「間違い認める」 トラス首相、辞任は否定 <1>
英経済政策、残る懸念 長期金利高止まり 年金基金の枯渇
- ・「世界の工場」分離の代償 ゼロチャイナなら国内生産 53 兆円消失 <2>
中国から日本への輸入の 8 割が 2 ヶ月間途絶えたなら「富岳」で試算
生産拠点移管・撤退で 14 兆円コスト増 トヨタ純利益 5 年分匹敵
 - ・円下落、一時 149 円台 32 年ぶり、米金利上昇で
 - ・独、原発全基稼働可能に 電力安定へ方針修正 来年 4 月まで延長
- 10/19・中国「成長第一」限界に 数値目標示せず GDP 公表延期
政策不況の批判警戒 外資の投資意欲そぐ
- ・シェール増産阻む資材高 油井管価格 1.8 倍、米で不足 インフレ圧力一段と
 - ・米、石油備蓄 1500 万バレル放出 OPEC プラスに対抗
 - ・英中銀、国債売却を再延期 来年 1 月に 財政計画見直し発表後
- 10/20・円「覆面介入」観測も 150 円接近 黒田氏「急落、経済にマイナス」
- ・英内相が辞任 政権打撃 トラス首相への批判示唆
 - ・貿易赤字 最大の 11 兆円 4~9 月 資源高・円安響く 輸入膨張 44%増 <3>
原油高 4 割は円安起因 金融緩和の効果「検証やるべき」日商会頭
- 10/21・円 150 円台、32 年ぶり 円安でも輸出停滞、輸入コストは膨張 <4>
人材・資本 日本離れ招く
- ・トラス首相、辞任表明 就任 44 日、経済混乱で引責
英市場、一時トリプル高 国債・通貨・株式 首相辞任、政策転換に期待
 - ・消費者物価 9 月 3.0%上昇 31 年ぶり水準 円安・資源高響く <5>
需要鈍くデフレなお 円安招いた「日本病」 賃金低迷・低成長のツケ
- 10/22・円買い介入、7 円急騰 151 円から 144 円に 単独介入、急場しのぎ <6>
- ・邦銀の外債運用、逆ざやに 日銀レポート、金利上昇シナリオ 過半が赤字転落も
 - ・欧州、イタリア新政権警戒 連立党首、ロシアと近く NATO 部隊運用に影響
- 10/23・習氏、3 期目確定 中国指導部 李克強氏ら退任 指導部の年齢制限形骸化
習氏に権力集中加速 「台湾独立反対」党規約に
- ・メローニ首相が就任 組閣で穏健路線を演出

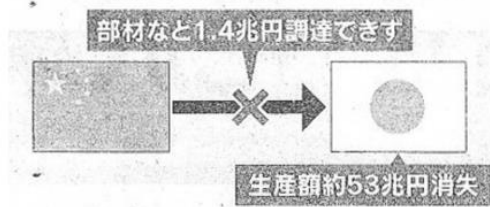
<1>

英10年債利回りは低下



<2>

中国からの輸入停止で



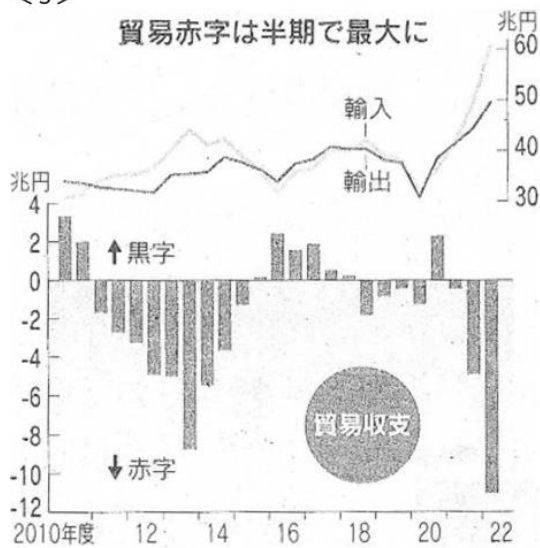
製品コストは



(注)生産減少は2カ月間8割輸入途絶の場合
(出所)生産減少は戸堂康之早稲田大学教授・井上寛康兵庫県立大学教授、製品コストはオウルズ試算

<3>

貿易赤字は半期で最大に



<5>

上昇した主な品目

▶ エネルギー	16.9%
◦ 電気代	21.5
◦ 都市ガス代	25.5
◦ ガソリン	7.0
▶ 生鮮除く食料	4.6%
◦ 食パン	14.6
◦ チョコレート	8.6
▶ 家庭用耐久財	11.3%
◦ ルームエアコン	14.4
◦ ドラム式洗濯機	32.1

(注)前年同月比

<4>

円安メリットは働きにくくなった

	1990年	2022年
貿易収支	7兆 6000億円の 黒字	14兆 3000億円の 赤字(1~9月)
原油 (WTI)	28.44 ドル	85.55
円の購買力 (実質実効 為替レート)	103.97	57.95 (9月)
海外生産 比率	4.6 %	22.4 (2020年度)

<6>

円買い介入にもかかわらず円安が進んでいた



円はバブル経済崩壊後の最安値圏に

